

2016 継続教育プログラム ーリハビリテーション専門看護ー

日時：2016年8月20日（土）～8月21日（日）

会場：上智大学 四谷キャンパス（東京都千代田区紀尾井町）

継続教育プログラムは、リハビリテーション看護の領域で個々の看護師が経験的に行ってきた実践をリハビリテーションの理念に基づいて再構成し、今後の看護実践とキャリア開発に役立てるための研修プログラムです

リハビリテーション看護とは

リハビリテーション看護とは、身体的または精神的障害、疾病（疾患）、加齢による健康状態の変化に伴い生活機能障害に直面した人々を対象に、専門的な知識と技術をもって行う看護である。

その目標は、健康の回復、維持・増進によって可能な限りの自立と生活の質を向上させることである。リハビリテーション看護の特徴は、人間の尊厳と可能性に注目し、変化する力を促進することである。

リハビリテーション看護師の役割

患者の評価・目標設定・実施・再評価の看護診断、介入のプロセスを展開する中で、看護師は、以下の6つの役割を果たしています。

- ①ケア実施者としての役割
- ②心理面の支持者としての役割
- ③教育者としての役割
- ④調整者としての役割
- ⑤地域社会との仲介者としての役割
- ⑥患者の代弁者としての役割



継続教育プログラムの枠組み

リハビリテーション専門看護の継続教育プログラムは以下の4つの枠組みから構成されています。

1. リハビリテーションの理念と目標を看護の立場から理解できる
2. リハビリテーションの視点で対象を把握し、看護診断できる
3. リハビリテーション看護師の役割を果たすための知識と技術を習得する
4. リハビリテーションの様々な局面を看護の立場から理解できる

期待される成果

受講者は、継続教育プログラム「リハビリテーション専門看護」修了した時点で、達成目標の内容について実施・相談・指導できる能力が期待されます。

【連絡先】

国際リハビリテーション看護研究会
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町 7-1
TEL/FAX : 03-6657-9241
E-mail : srn2011@rehab-nurse.sakura.ne.jp
HP アドレス : <http://rehab-nurse.sakura.ne.jp/>

2016継続教育プログラム

1. テーマ リハ看護の過去・現在・未来 II
～リハビリテーション医療のグランドデザインと看護活動基準～

2. 日時 2016年8月20日(土)～8月21日(日)

3. 場所 上智大学四谷キャンパス 2号館410教室(予定)

4. 参加費 2日間 会員:10,000円 非会員:15,000円
1日のみ 会員:5,000円 非会員:8,000円
研究発表会のみ 会員・非会員ともに:3,000円

*参加費は郵便局備付けの払込取扱票で8月5日までに振込ください。

★郵便振込み:口座番号00140-6-559015 ・口座名称:国際リハビリテーション看護研究会

★銀行振込みの場合:振込先 ゆうちょ銀行 ・店番(019) ・当座 ・口座番号(0559015)

5. 研修修了認定

研修1日単位で、修了証を発行します。(研究発表のみでは修了証は発行しません。)

6. お申込み方法 研究会ホームページ(<http://rehab-nurse.sakura.ne.jp/>)から申込み用紙をダウンロードして、必要事項をご記入の上、7月20日～31日の間に、Eメールで事務局に送付してください。

☞E-mail: srn2011@rehab-nurse.sakura.ne.jp

※継続教育プログラム2日間に連続参加される方は、研究発表会の申し込みは不要です。

7. コースプログラム

	日時	内容
8月20日(土)	9:30	受付開始
	10:00	開会:オリエンテーション 理事長あいさつ
	10:15～11:15	講演:地域包括ケア時代を見据えたりハビリテーションのあり方 講師 栗原正紀氏 長崎リハビリテーション病院院長 全国リハビリテーション医療関連団体協議会会長
	11:25～12:25	講演:リハビリテーション看護の実践基準の作成をめざして 講師 奥宮暁子氏 帝京大学医療科学部教授(本研究会副理事長)
	12:30～13:30	休憩
	13:00～16:20	グループワーク:未来への可能性を信じて強味を引き出す看護力 ～次世代へ伝えたいリハ看護とは何かをみんなで検討する～
	16:30	終了
8月21日(日)	9:30	受付開始
	9:45～10:50	講演:看護基礎教育におけるリハビリテーション看護教育の現状と課題 講師 石川ふみよ氏 上智大学総合人間科学部教授(本研究会理事)
	11:00～12:30	講演<廃用症候群の概念分析の結果と予防> 講師 大久保暢子氏 聖路加国際大学看護学部准教授
	12:30～13:30	休憩
	13:30～15:10	第11回研究発表会
	15:10～15:50	講評:宮腰由紀子氏 日本福祉大学看護学部教授(本研究会理事)
16:00	閉会	

8. 会場までの交通:JR中央線・東京メトロ丸ノ内線・南北線/四ッ谷駅 麴町口・赤坂口から徒歩5分

☞http://www.sophia.ac.jp/jpn/info/access/accessguide/access_yotsuya